

議会だより



あまが

平成31年
3月定例会

平成31年4月25日
第111号

目次

- 平成31年度一般会計 P 2
- 一般質問 P 3
- 委員会審査報告 P13
- 委員会現地視察 P14
- 平成31年3月定例会議決事項 P15
- 徳之島三カ町議会議員大会／編集後記 ... P16



クルーズ船が続々入港！



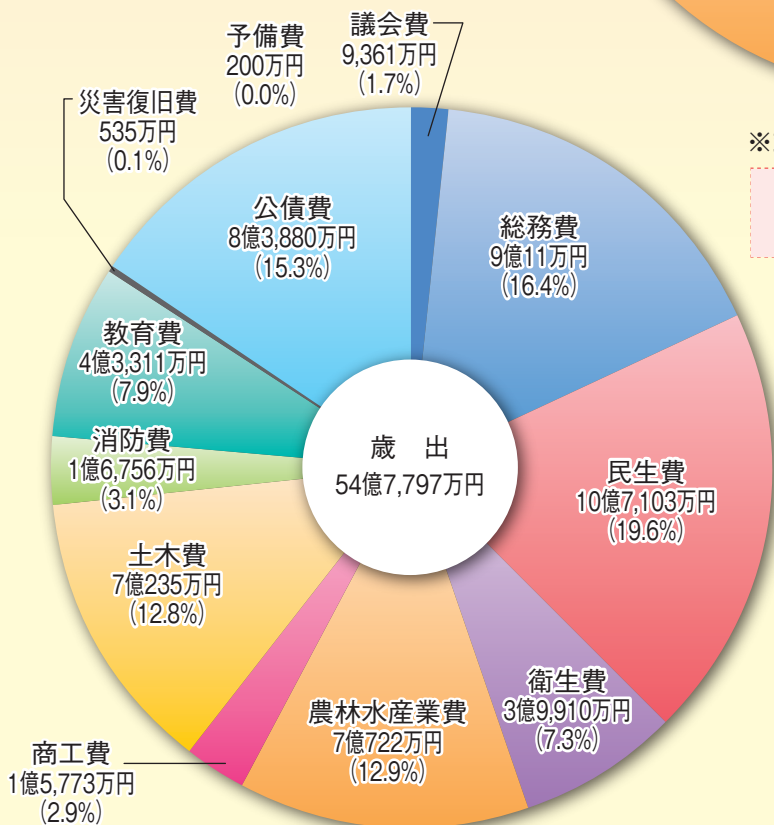
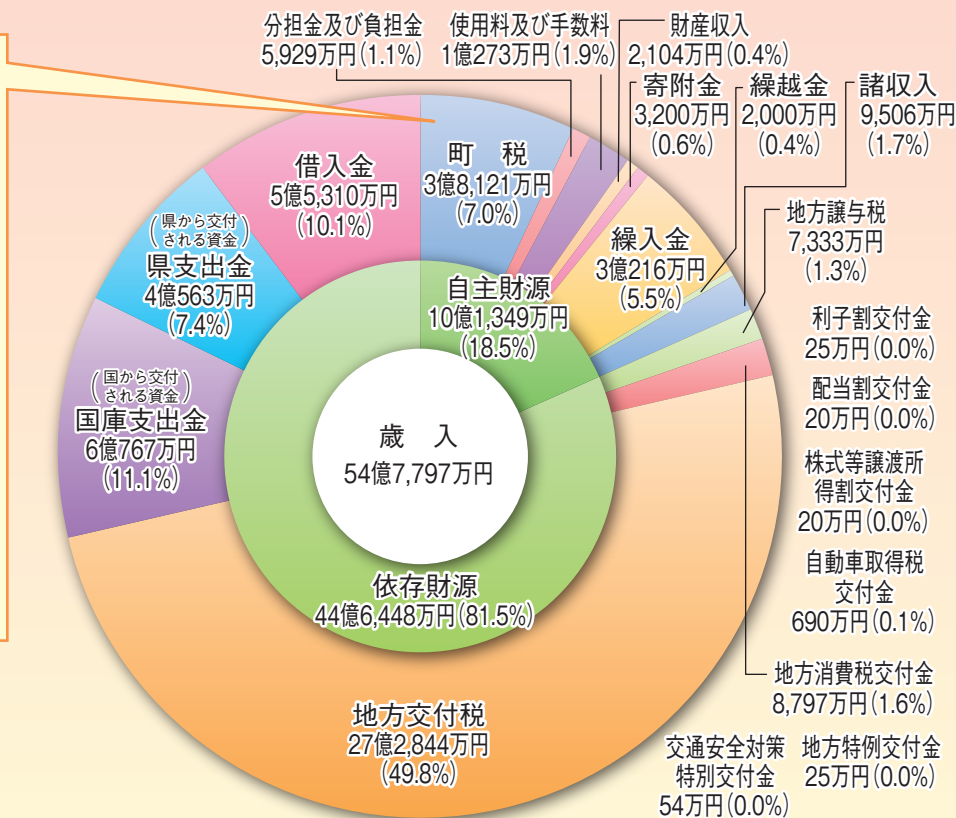
当初予算54億7797万円に決定

(前年度比9,941万円、1.8%減)

「住んでよかった。暮らし満足度 No.1 のまち」を目指して平成31年第1回定例会を3月5日から20日まで開催しました。31年度当初予算や30年度の補正予算など18議案が提出され、そのうち16件について可決、1件を否決、1件を不同意としました。一般質問では、12人の議員が質問を行いました。

町税の内訳

区分	金額	
町民税	1億2,401万円	
内	個人	1億779万円
	法人	1,622万円
固定資産税	1億7,694万円	
軽自動車税	2,725万円	
町たばこ税	5,300万円	
鉱山税	1万円	



※端数調整のため、合計が一致しない場合があります。

自主財源 … 町税など自主的に収入する財源
依存財源 … 地方交付税など、国又は県から交付される収入

31年度特別会計当初予算額

国民健康保険会計	9億5,592万円
介護保険会計	9億2,496万円
後期高齢者医療会計	6,696万円
簡易水道会計	3億4,513万円

※端数調整のため、合計が一致しない場合があります。

一般質問



武田正光
議員

日本復帰記念事業の必要性和奄美群島振興開発特別措置法について

問 異民族支配から歴史的な復帰運動も歳月とともに風化しつつある陰で、歴史は繰り返すといわれている。加えて奄振法と国家責任についても、国家的責任はこれまでの過程で十分果たされている。との発言など、足元から揺らぎ出している。

答 現段階で祖国復帰記念事業を実施する予定はない。しかし、祖国復帰運動は先人達が血ののじむ思いで勝ち取ったものであり、次世代へ継承していくことは重要だと考えている。また、奄振法の延長と更なる拡充については今後も積極的に取り組んで参りたい。

介護事業における家庭介護の介護家族等へのセーフティネットについて

問 介護保険制度が制定されて以来、改正等もあって、地域包括支援など充実もはかられてきているが、いずれも要介護者本人が対象であり、介護する側への支援が余りにも手薄と思われるが、本町の現状はどうか。

答 介護する家族への支援としては、家族介護用品支給事業、家族介護慰労金事業、認知症家族会などの実施に

より、負担の軽減を図っている。また、訪問時やケアプラン作成時には、ご家族の意向も十分踏まえたうえで対応している。

2020年からはじまる小学校の「外国語活動」の内容と、それへの取り組みについて

問 現在、小学校5年生からの外国語活動が小学校3年生からはじまり、5年になると新しい教科になり成績もつくという。中学の英語授業は原則英語で行うことになるというのは事実であるか。その場合、地域の環境整備は大丈夫なのか。

答 「外国語活動」はすでに小学校では3年生から実施しており、中学校の英語授業は原則英語で行うというところだが、あくまで原則であり生徒の実態に合わせて、日本語の解説や説明を行っている。



ALTによる授業

く。地域の環境整備については、ALTの雇用と、専門講師を招へいして研修を実施しましたが来年度も継続して行っていく。



大吉皓一郎
議員

活力ある町政運営について

問 国土交通省が海釣のできるモデルになる港湾を募集して

いるが、平土野港・防波堤を創生天城（観光資源・釣り文化振興）として申請できないか。

答 国土交通省は、港湾における釣り施設や既存防波堤の利活用を進めている。それ程難しい年間計画を作成する必要はなく、課題は港湾管理者である県の同意を得ることであるので、3月14日までは相談して対応したい。

問 岡前生活館長寿命化（修繕工事）への助成はできないか。

答 町づくりの基本は地域づくり、地域コミュニティがしっかりしていることで、町全体がよくなっていく。集落の自助努力を評価し、支援していきたい。集落の活性化に繋がる方向で対応していく。

問 自衛隊誘致活動の現状と今後の計画について。

答 昨年5月地元の衆議院議員、参議院議員の同行で防衛省に出向き、誘致の要望書を提出した。10月には鎮西演習、

航空総隊統合訓練を本町で受け入れた。防災や住民の安全確保、地域活性化への観点から連携体制強化に関する覚書を取り交わした。今後ますます連携を密にし、積極的に誘致活動を防衛省や関係機関に働きかけていく。

建設行政について

問 平土野港多機能港湾新設の計画について。

答 平成27・30年度の徳之島三カ町議会議員大会と奄美群島市町村議員大会においても議題とされ、空港から平土野地区が一体化した環境整備を進めるためにも、重要課題と捉えている。本年度は期成同盟会を設置し、平土野港多機能港湾新設の実現に向けた国・県への要請活動を行っていく。

問 天城中央線歩道整備・路傍植栽について。

答 天城中央線（天小通り）は、

平成31年度の社会資本整備事業により歩道の拡張を計画している。現在ある植樹帯の撤去は、地域の方々と話し合いを行いながら進めていく。



天城中央線の状況

行財政改革について

問 定員適正化計画と職員採用について。

答 国体など大きなイベントには集中的にスタッフが必要な場合もある。そのような時は次の年に採用を抑制するな

ど、しっかりとバランスを取ってやって行かないと、どんどん水膨れになるような採用計画ではまずい。社会人枠（年齢40才まで）と一芸に秀でる者の採用については、優れた人材を確保し活用していく事が活性化に繋がりが、町にとっても大きなプラスになっていくので、検討していきたい。



奥 好生 議員

町政運営について

問 「住んで良かった。暮らし満足度NO.1のまち」とは具体的にどのようなまちなのか。

答 全ての子どもから高齢者までが健康で生き生きと暮らせる、住み慣れたまちづくりを目指す。まずは「現場第一」

で町民の皆様の声に真摯に耳を傾け、多様化するニーズを的確に捉え、真に必要な施策に積極的に取り組む。

均衡のとれた町土の形成について

問 南部地区への住宅建設について。

答 南部地区へは、平成31年度には1棟2戸の計画をしている。

問 南部地区の町道・農道の舗装について。

答 町道舗装については、補助事業・町単独事業等で対応している。

補助事業については、導入条件の確認、町単独事業については、緊急性、地域性などを考慮し実施している。農道舗装については、平成31年度に兼久地区300メートルの整備を予定している。

問 南部地区の生活道路の側溝整備について。

答 南部地区の生活道路の側溝整備については、地区要望等をふまえ、今後、補助事業などで計画できないか検討していきたいと考えている。

問 南部地区へのデマンドバスの運行について。

答 2月に開催した徳之島地域公共交通活性化再生協議会、徳之島地域公共交通会議に諮り協議を行ったところ、南部地区へのデマンドバスの運行について承認された。今後は、関係機関と連携を図りながら、運行に向けての準備を進めていく。

経路として、当部ないし三京を始発として瀬滝・大津川・兼久・平土野を考えている。

観光振興について

問 当部集落の今後の活性化対策について。

答 茶処「あがりまた」は大

変好評で週末には島内各地から訪れており、来店者5千人を超えた。現在、アマミノクロウサギ観察小屋周辺整備を行っており、今後は当部集落に点在する観光資源や戦跡を結び、世界自然遺産を体感できるエリアとして整備を行い、当部集落の活性化と町全体の活性化を図っていく。



茶処「あがりまた」



喜入伊佐男
議員

建設行政について

問 兼久町営住宅B団地の建て替えについて。

答 兼久町営住宅B団地は、56年が経過し老朽化しており、現在使用していないため、平成31年度に取り壊し、単独木造住宅1棟2戸の建設を計画している。

問 兼久団地住宅の浄化槽設置について。

答 この団地は、長寿命化計画の平成39年度からの次期10年計画の中で、建て替え対象団地として盛り込む予定。今後、費用対効果等を考慮して計画していきたい。

問 兼久前中組線の町道拡幅について。

答 集落内の道路幅が、狭い

のは認識している。今後、地籍調査事業の中で筆界未定地区の有無、地権者の確実な同意など、関係地域住民との意見交換をふまえた上で、検討していきたい。



兼久中組線の状況



柏井洋一
議員

建設行政について

問 尻田線の見通しについて伺いたい。

答 過去に尻田線を拡幅する構想があったが、筆界未定箇所が多く進展がない。

地権者や集落などで、筆界未定地が解消した場合には、地域の皆様と協力しながら、事業実施にむけて取り組んでいきたい。

問 県道の街灯について県への働きかけはどのように行っているのか。

答 現在、町内県道の街灯（道路照明）は、秋利神大橋及び天城大橋と平土野郵便局前に設置されているが、まだまだ町内の県道の街灯は十分とはいえない。しかし、設置は道

路管理者である県が行うため、今後も県へ要望をしていきたい。

問 三京から旧東天城への取付け道路の整備はできないか。

答 三京林道については林野庁の管轄で、奄美群島国立公園区域の第2種特別区域とされており、この区域においても工物の新築、改築、増築行為など、事業導入には厳しい規制がかかってくるものと考えている。

問 平土野海岸の砂の撤去はできないか。

答 これまでも、県の方で船だまりや真瀬名川河口の砂の撤去を行っている。平土野海岸線を含め、今後も県との協議を重ね、要望していく。

環境整備について

問 ポケット公園（駐車場）の整備はできないか。

答 現在のところ、駐車ス

ペースの整備は考えていませんが、利用者の利便性の向上を図るためにバリアフリー化等を検討していきたいと考えている。



ポケット公園の状況



吉村元光
議員

建設行政について

問 公営住宅及び木造住宅建設事業計画等について。

答 平成38年度までに、公営

住宅の建替え28戸、新築建設8戸、単独木造住宅6戸計画している。住宅の確保は若者の定住促進に大きな効果がある。西阿木名集落については、平成31年度に建設用地を取得し、長寿命化計画を基に、活用プログラムの修正で公営住宅の新規建設に取りかかる。

教育行政について

問 校舎建設事業計画等について。

答 町内には、立て替えを実施してない学校校舎が3校ある。天城町の将来を託す、児童、生徒の教育環境の整備は行政としての責務である。

西阿木名小中学校校舎は、築後半世紀となり経年劣化が目立ち、排水処理や諸問題が存在する。今後は教育環境の改善を図るうえで立

て替えを検討する。



西阿木名小中学校校舎

問 教員住宅建設事業計画等について。

答 町内において、最近はいわゆる教員住宅の建設はしてない。しかし教員の町内居住で地域活性化を図る観点から教員住宅の建設は必要である。西阿木名小中学校区においても4戸の教員住宅が不足しているが建設用地の確保が出来れば教員住宅の建設を

推進していきたい。

問 天城町教育文化の町推進計画の執行状況について。

答 推進計画を進める柱に「ユイの心」を育むことを据えている。

○ 教育委員会が実施する行事はP D C Aサイクル作業を実施し、その目的、効果等に係る評価や改善を確認する必要がある。O S O S運動の推進展開については広報車による広報や看板の設置で町民の皆様へ周知を図る。教育文化の町推進会議の各会議はポトムアップ（下から意見をまとめていく）を図れる会議形式にする。

意見 「教育文化の町を推進するにあたり有資格者が必要不可欠なことから次の2点を意見した。
（社会教育主事の確保、学芸員の採用）

施政方針について



平岡 寛次
議員

問 行財政改革を具体的にどのように推進していくのか。

答 少子高齢化、情報化社会などの社会情勢の変化や地方分権の進行等に的確に対応し、新たな行政課題と町民の多様なニーズに即応できる行政サービスを展開するため、平成31年度は組織・機構の再編を行っていく。

問 南部地域振興の具体策について。

答 平成31年度は、南部地区における住宅用土地の購入やデマンドバスの南部路線開設を進めていく。また、西阿木名地区簡易水道事業で水道施設整備、中部簡易水道事業で兼久・瀬滝集落の配水管の布

※ 「P」計画する 「D」実施する 「C」評価する 「A」改善する

設替えなど、水質改善や施設改修を進めていく。更に、農業基盤整備促進事業 中部地区（兼久地区）において農道300mを整備する。町営住宅については、南部地区に木造住宅1棟2戸を建築致していく。



デマンドバスの運行

農政について

問 輸送コスト支援事業の現状について。

答 平成29年度において、輸送コスト支援事業を活用した事業者は5団体で、その実績は、16品目に対し補助金が

4千4百95万5千円でした。平成30年度は、昨年3月から本年2月までの馬鈴薯の豊作もあり、補助金で6千6百万円を見込んでいます。

問 へい獣処理施設の建設は検討できないか。

答 畜産における死亡牛の処理として、現在48ヶ月齢以上については、BSE検査のため家畜保健所にて検査の上焼却処理を行っている。48ヶ月齢未満については、農家個々に徳之島保健所の許可を得て、埋設処理を行っている。平成29年度の48ヶ月未満の死亡牛頭数は、徳之島全体で523頭となっており、埋設処理に係る農家の負担も大きいものがあると考えている。現在、徳之島地域総合営農推進本部・畜産部会において、3町、2JA、南大島農業共同組合、徳之島保健所と共に処理施設の建設について協議しているところである。

福祉行政について

問 臓器移植支援事業について。

答 臓器移植支援事業については、旅費助成の対象となる移植手術を平成27年度から、心臓・肺・腎臓・肝臓・膵臓の五つの臓器と範囲を広げて実施しており、臓器の提供者や、介添え者も旅費助成の対象としている。平成27年度以降で、事業を活用された方は1名である。



秋田浩平 議員

施政方針について

問 平土野港多機能港湾新設の実現について。

答 平成27年度と平成30年度の徳之島三カ町議会議員大会と奄美群島市町村議員大会に

おいても採択されており、重要課題と捉えている。本年度は期成同盟会を設置し、国・県への要請活動など、平土野港多機能港湾新設の実現に向けた取組を進めていく。

農政について

問 市民農園について。

答 平成31年度に、農業センター内に10区画ほどの農園を整備し、農地または家庭菜園を持たない家庭を対象に、市民農園を開設したいと考えている。現在行っている農業塾や春と秋の苗ものの市の延長として、多くの町民の方に自給野菜の栽培や花作りを体験していただきたいと考えている。

問 直売所について。

答 現在、旧農政局舎を利用して、試行的な直売所の開設に向け準備をしているところである。

今後、総合的なアンテナ

ショップとして農林水産物や加工品販売、さらにはレストランも含めた施設整備を検討していきたい。

問 木のあふれる町づくりについて。

答 本事業は、県産材の利用促進を目的に平成17年度から森林環境税事業の一つとして実施している。本町では平成29年度に、防災センターの演台・当部あがりまたのテーブルと看板、平成30年度には北部保育所の棚とベンチを製作した。平成31年度は、西阿木名小中学校に木製の机と椅子を制作し、児童・生徒に木のやさしさや温もりを体感してほしいと考えている。

農地整備について

問 農業基盤整備促進事業について。

答 生産効率の向上を図り、競争力のある攻めの農業を展

開するため、地域の実情に応じた迅速かつきめ細かな農地・農業水利施設等の整備を実施する。長期計画として平成31年度から農業基盤促進事業中部地区1、160mを計画しているところである。

水産業について

問 天城町先端水産業実証事業について。

答 現在、鹿児島大学水産学部等との地域包括連携協定に向けて準備を進めているが、旧農政局施設を活用した陸上養殖及び屋内の水槽で一時的に養う畜養や水産研究を実施し、本町の水産振興に繋がっていききたい。

建設行政について

問 公営住宅建設事業について。

答 平成28年度策定した長寿命化計画を基に、活用プログ

ラムを修正しながら推進していきたい。平成38年度までに、公営住宅の建替え28戸、新規建設8戸を計画している。

水道行政について

問 中部簡易水道事業について。

答 中部簡易水道事業の概要については、平成18年度から事業を開始し、平成31年度までの計画となっている。主な事業は、中部第1浄水場（天城）の急速濾過設備の新設を行い、浅間から三京地区までの配水管・導水管の布設替えの事業を行っている。



昇 健児 議員

福祉行政について

問 保育環境の整備について、

今後どのような計画を考えているのか。

答 施設面については、老朽化を最大の課題と考え、建て替え等を踏まえ協議していく。ソフト面については、継続的な保育士等の研修を実施し、保育環境の向上に努める。



老朽化する施設

農政について

問 鳥獣被害対策における猪の侵入防護柵破損の対応と猪

の捕獲補助金の適用期間について。

答 侵入防止柵の破損、修繕については、集落区長からの要望に基づき、相応の資材の支給を行っている。イノシシの捕獲補助金の適応期間については、4月から10月末までの禁猟期間に捕獲した個体に対して補助金を支出している。また、狩猟期間中においても農家からの被害報告があった場合は、町からの指示書に基づいて捕獲されたイノシシに補助が出来るよう、今後検討していきたい。

ふるさと寄附金について

問 ふるさと納税の返礼品について、品物だけでなく、様々なサービス(墓参りの代行等)も検討できないか。

答 返礼品としての墓参り代行については、郷土出身者に寄り添った返礼品と考えるの

で、今後、関係事業所と協議を進めていきたい。



上岡 義茂
議員

施政方針について

問 農業、水産業の持続的発展による経済の活性化及び所得の向上について。

答 本町の基幹産業は農業であり、その収入が地域経済に大きく影響するものと考えている。平成31年度も継続した事業の展開で、農家所得の向上に取り組んでいく。新たな取り組みとして、国の補助事業・スマート農業導入実証事業を活用し、ドローンによる薬剤散布などで省力化と散布面積の拡大、単収向上に繋げていきたい。また、鹿児島大学農学部と連携し、GP

Sを駆使したサトウキビの生育や気象の調査を行っていく。



ドローンによる散布

問 地方創生の推進と均衡のとれた町土形成について。

答 現行の総合戦略が終期を迎えるにあたり、これまでの地方創生の取組の成果や課題を検証し、次期総合戦略の策定や新たな取組を推進していく。また、道路・橋梁の整備や住宅の建設など生活基盤の向上に努めるとともに、水道・浄化槽の整備、ゴミ対策など

生活環境や景観の保全に努めている。



松山 善太郎
議員

町政運営の基本方針について

問 公平無私について。

答 公平無私については、私の政策理念であり、個人格差や地域間格差を生むことなく、平等かつ公正な行政運営を進めていく。そのためにも、自分の主観的・個人的な意見や感情にとらわれることなく、町民の皆様の声を積極的に聞き、物事を分析し、町民が主役で暮らし満足度ナンバーワンを目指していく。

問 現場第一主義について。

答 現場第一主義につきましては、積極的に現場・地域に足を運び、町民の生の声を聞

き、町民に寄り添った施策を進めていく。そのためにも、集落座談会だけでなく、町民の皆様との対話を重視し、町民の真のニーズに答えられるよう行政運営に取り組んでいく。

問 「暮らしと満足度ナンバーワンのまち」への取り組み。

答 全ての子どもから高齢者までが健康で生き生きと暮らせる、住み慣れたまちづくりを目指していく。まずは現場第一で町民の皆様の声に真摯に耳を傾け、多様化する住民ニーズを的確に捉え、様々な改革に積極的に取り組んでいく。第一次産業の活性化を重視し、若い世代が主役として働きやすい環境づくり、子育て支援策、定住支援策を推進していく。

新規事業（政策）について

問 水産業活性化推進事業に

CSJ。

答 漁業生産の向上を推進するため、漁業者が漁具及び漁業資材を導入する場合や水産加工設備等の設置にあたり、経費負担を軽減するために補助を行い、水産業の活性化を図るものである。

問 ドーム闘牛場建設について。

答 ドーム闘牛場建設の必要性は強く感じており、平成31年度は建設に向けた基本計画を作成する。

問 国体準備について。

答 第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」まで2年を切り、今年11月17日にはリハール大会が開催される。関係機関と連携を密にして大会を成功させ、2020年10月4日開催の本大会に繋げていく。そのために、地元審判員の養成講習会を開催するなど資質向上を図るとともに、町内の環境美化作業など町民運動を推進していく。

継続事業（懸案）事項について

問 道路事業について。

答 中断している道路については、地権者などの同意がなされ、確実な進展が図られる状況が確認できれば、事業を実施していきたい。

問 子育て支援・高齢者福祉について。

答 子育て支援については、児童養育費助成事業、出産祝い金支給事業、義務教育就学児医療費助成事業など子育て世代への支援を行っている。高齢者福祉については、敬老祝い金の支給、敬老バス無料乗車券の交付、緊急時の通報装置の貸与・設置等を行っている。

教育行政について

問 学力向上について（現状と課題及び対策）。

答 毎年行われる鹿児島学習

定着度調査については、平成27年度から今年度までの変化を見ると、正答率は上昇しており、全国学力・学習状況調査は、中学校では、国語・数学とも、上昇している。これは、天城町において、過去10年間で最良の結果になっている。課題については、応用問題や記述問題については、苦手、うまく書けないということが挙げられる。対策として、各学校において朝や放課後の時間に、応用・記述問題に触れる機会を設けて対応している。

問 新規事業について。

答 小中学校の総合的学習時間を活用して、天城町の人・文化・歴史、自然環境等について学び、郷土学習や、山林等での現地学習を「あまぎ学」と名称して実施する。企画課の世界自然遺産次世代継承交流構築事業とも連携し、人材育成に取り組む。

また、平成32年度からのプログラミング教育の必修化を見据え、タブレットの導入と、校務事務処理のシステム等の導入を図り、学力向上に向けた教員の資質向上や、充実した教育活動を推進していく。

問 山海留学の取り組みについて。

答 山海留学については、山海留学制度実施委員会の活動を、地域の皆様と共に、今後とも積極的に取り組んでいきたい。



久田 高志
議員

消費増税対策について

問 本町におけるキャッシュレス化決済の対策について、どのように考えているか。



答 今年10月1日に予定されている消費税率引き上げの際には、軽減税率制度が実施される。また、今後増加が期待される訪日外国人旅行者に対応すべく、関係機関と連携して説明会等の開催や情報をいち早く取り入れ、商工事業者及び町民への周知を行っていく。

子育て支援について

問 町営の保育所、幼稚園の老朽化対策について、どのように取り組んで行くのか。

答 保育施設の老朽化は喫緊の課題と考えている。今後、建て替え等を含め最適な保育環境の維持に努めていく。また、教育委員会では、平成31年度と32年度の2カ年で、西阿木名幼稚園も含めた、教育施設の長寿命化計画を策定し、計画的な補修や建て替えを実施していく。

交通弱者対策について

問 公共交通機関（デマンドバス含む）利便性向上に向けての対策を考えられないか。

答 南部地区のデマンドバス運行については、徳之島地域公共交通活性化再生協議会で承認されたので、運行に向けて準備を進めていく。利便性

向上に向けた対策として、まずは現状を把握分析し、地域の実情に即した協議を行いながら検討していく。

医療対策について

問 島内で治療が難しいと言われる疾病患者への旅費助成について対策を講じることはできないか。

答 島内での治療が困難な方の旅費助成については、20歳未満の方を対象に実施しており、付き添いの保護者1名分についても助成の対象としているところである。



委員会審査報告

平成31年度予算に関する議案は、常任委員会に付託され、慎重に審査されます。その審査の経緯と結果は、本会議で各常任委員長が報告し、質疑・討論を受けて採決されます。

▼総務文教常任委員会▲

(構成委員)

委員長 大吉皓一郎
副委員長 吉村 元光
委員 武田 正光
松山善太郎・上岡 義茂
秋田 浩平・平岡 寛次

平成31年度天城町一般会計歳入歳出予算について総務文教常任委員会は慎重に審議を行い、賛成全員で原案のとおり可決しました。また、当委員会の意見として、次の5点を執行部に申し入れました。

- (意見)
1. 町税等自主財源の確保については、滞納者に対する

る厳正な処分等も実行しながら、各課で徹底、全庁一丸となって徴収に取り組むこと。

1. 生涯学習推進室、図書館、ユイの館の管理においては、教育文化の町推進計画に従って職員又は有資格者を配置し、町民へのサービスを徹底すること。

1. 歳出について、特に賃金、需用費、委託料、使用料及び賃借料が増加傾向にあるため、職員のコスト意識の徹底を図るなど行政経費の節減に努めること。

1. 町民ニーズに対して、弾力的かつ的確に対応するべく、職員定数については、定員管理適正化計画に基づき、定数の適正化に努めること。

1. 臨時職員及び非常勤職員の賃金、労働条件については、同一労働・同一賃金の観点から、適正な任用と勤務条件に努めるべく、会計年度任用職員制度に基づいた対応を図ること。

▼建設経済厚生常任委員会▲

(構成委員)

委員長 昇 健児
副委員長 奥 好生
委員 平山 栄助
柏井 洋一・前田 芳作
久田 高志・喜入伊佐男

平成31年度天城町一般会計・国民健康保険事業特別会計・介護保険事業特別会計・後期高齢者医療事業特別会計・簡易水道事業特別会計、それぞれの歳入歳出予算について建設経済厚生常任委員会は慎重に審議を行い、賛成多数で原案のとおり可決しました。また、当委員会の意見として、次の4点を執行部に申し入れました。

- (意見)
1. 各課における未収金については、財政健全化に影響を及ぼすことが懸念される。徴収にあたっては、各課しっかりと連携を図り、法的手段も含め未収金対策に最大限努力すべきである。

1. 道路改築事業推進等においては、事業完了に向けて地権者等の同意を

100%得て、事業を推進すべきである。

1. 当初予算の執行については、目的・内容を十分に精査、見直し等補正等を考慮しながら事業を推進すべきである。

1. へい獣処理施設の建設は、徳之島3町喫緊の課題である。徳之島3町で早急に連絡協議会を設置し、建設へむけて推進すべきである。



● 現 地 視 察 ●

▶ 総務文教常任委員会 ◀



国体トライアスロン会場の説明（松原漁港）



大和城観光地連携整備事業箇所の確認



与名間ビーチ艇庫の管理運営状況の確認

▶ 建設経済厚生常任委員会 ◀



公営住宅建替現場確認（兼久B団地）



西阿木名新規簡易水道事業箇所の現況確認



農道舗装箇所の現場確認（兼久地区）

平成 31 年 3 月定例会

番 号	件 名	結 果
議案第 4 号	天城町長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 5 号	天城町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 6 号	天城町ゆたかなふるさと寄附金条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 7 号	天城町税条例等の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 8 号	天城町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 9 号	天城辺地に係る総合整備計画の変更について	原案可決
議案第 10 号	過疎地域自立促進市町村計画の変更について	否 決
議案第 11 号	平成 30 年度天城町一般会計歳入歳出予算補正（第 8 号）について	原案可決
議案第 12 号	平成 30 年度天城町国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算補正（第 3 号）について	原案可決
議案第 13 号	平成 30 年度天城町介護保険事業特別会計歳入歳出予算補正（第 3 号）について	原案可決
議案第 14 号	平成 30 年度天城町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出予算補正（第 2 号）について	原案可決
議案第 15 号	平成 30 年度天城町簡易水道事業特別会計歳入歳出予算補正（第 6 号）について	原案可決
議案第 16 号	平成 31 年度天城町一般会計歳入歳出予算について	原案可決
議案第 17 号	平成 31 年度天城町国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算について	原案可決
議案第 18 号	平成 31 年度天城町介護保険事業特別会計歳入歳出予算について	原案可決
議案第 19 号	平成 31 年度天城町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出予算について	原案可決
議案第 20 号	平成 31 年度天城町簡易水道事業特別会計歳入歳出予算について	原案可決
議案第 21 号	天城町副町長の選任の同意について	不 同 意
陳情第 2 号	バス通学生への通学費の助成について	採 択
	議会運営委員会の閉会中の所掌事務の継続調査について	可 決
	常任委員会の閉会中の所管事務の継続調査について	可 決
	常任委員会の閉会中の所管事務の継続調査について	可 決
	議員派遣予定の件について	可 決

平成 30 年度 徳之島三カ町議会議員大会

平成 31 年 2 月 14 日（木）、天城町防災センターにおいて平成 30 年度徳之島三カ町議会議員大会が開催され、三カ町の議会議員や町長をはじめ、禧久 伸一郎鹿児島県議会議員、瀬戸口 寛大島支庁徳之島事務所長が来賓として出席されました。

「旧亀徳港岸壁の 10 万トン級バース^{*}への延伸改修について」を提出議題として、徳之島町経済建設常任委員長の徳田 進議員が提案理由の説明を行いました。

その主な要旨は以下のとおりです。

○現在、旧亀徳港は、徳之島の物流の拠点港として主に貨物船が利用している。

この岸壁を防波堤までおよそ 450 m 延伸しても水深 15 m 以上あり、10 万トン級の大型観光クルーズ船の寄港も可能なバースになり得る。

延伸改修を実現することにより、世界自然遺産登録後の大型クルーズ船の寄港による観光客の増加が地域経済の活性化につながり、同時に、徳之島の自然や文化を世界に発信することもできる。よって、旧亀徳港岸壁延伸改修を強く要望する。



大会会場の様子



提案理由説明（徳田議員）

※バース … 船を停泊するために着岸する場所

◆ 編集後記 ◆

春から夏の便りがちらほら届く頃となりましたが、町民の皆様にはご清祥のこととお喜び申し上げます。かねてより、町政、議会運営には、ご理解とご協力頂き感謝申し上げます。

いよいよ時代は「平成」に終わりを告げ、この議会だよりが届く頃には、新たな元号「令和」としてスタートをきっている事でしょう。

日本はこの 30 年間、東日本大震災をはじめとする自然災害の猛威に打ちひしがれながらも、一步一步、歩みを止めることなく、前を向いて頑張つて参りました。我が町の基幹産業である農業も、相次ぐ台風被害の影響で、サトウキビの記録的低糖度に加え、バレイシヨの市場価格の低迷が続く状況でございますが、議員一人ひとりが、町民の皆さまの負託にお応えするため、地道な努力を積み重ね、将来に向けた地盤をしっかりと作り上げることを目指し、執行部とともに活力ある活気に溢れた天城町に向かって、全力で取り組んで参ります。

議会だより編集委員長 柏井 洋一